教養教育 | 1年次以上対象 | 2年次以上対象 | 3年次以上対象 | 4年次以上対象

医学部医学科 履修モデル

想定対象学生： 医学部学生(研究医を目指す学生)

修得単位合計： 必修17単位と選択を合わせて合計16単位以上

修了レベル： レベル2

履修モデルタイトル： 医学科応用基礎コース

当該履修モデルを通じて学生に学修させたい内容:
医療現場の課題を同定し、研究の計画、実施、統計解析等の分析、考察、公表等を行うことを通じて学生の研究能力を涵養し、医師資格を持った優れた医学研究者(研究医)となること。

履修学年	科目名	内容番号	単位	修得単位
4年	医療プロフェッショナリズム	[1][2][3][4]	1	1
4年	社会医学実習	[1][2][3][4][5][オ1][オ7]	1	1
4年	神経・脳科学	[3][オ9]	2	2
4年	臨床薬理・EBMと医療	[3][5][オ1]	1	1
4年	医学統計	[1][2][3][4][5][オ1][オ7]	1	1
3年	環境保健学	[2][3][4]	1	1
3年	診療情報・臨床研究と医療	[2][3][4][5][オ9]	1	1
3年	生命倫理学	[4]	1	1
3年	疫学	[1][2][3][4][5][オ1]	1	1
2年	研究室配属	[オ1][オ7]	4	4
1年	解析学Ⅰ	[オ1]	1	1
1年	解析学Ⅱ	[オ1]	1	1
以下は選択科目				
1～6年	基礎研究演習(研究医養成プログラム)	[オ1][オ7]	3	3
3年	研究室配属Ⅱ	[オ1][オ7]	3	3
1年	プログラミング基礎Ⅰ	[オ2][オ3]	1	1
1年	プログラミング基礎Ⅱ	[オ1]	1	1
1年	現代情報処理Ⅰ	[3][5]	1	1
1年	現代情報処理Ⅱ	[4]	1	1
1年	データサイエンスの世界	[1][2][3]	1	1
1年	データサイエンスの実践	[4][5][オ1][オ2][オ3][オ7][オ8][オ9]	1	1
1年	データ分析基礎Ⅰ	[2][5][オ1]	1	1
1年	データ分析基礎Ⅱ	[2][5][オ1]	1	1
必修	「学術情報リテラシーⅠ」 内容番号:[2][3][4][5] 単位:1			
必修	「学術情報リテラシーⅡ」 内容番号:[1][2][3][4][5] 単位:1			

想定対象学生： 医学部学生

修得単位合計： 17

修了レベル： レベル2

履修モデルタイトル： 医学科コース

当該履修モデルを通じて学生に学修させたい内容:
・今後予想される医療のデジタル化において、数理・データサイエンス・AIを臨床、研究、教育の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付ける。
・学修した数理・データサイエンス・AIに関する知識・技能を扱う際に、人間中心の適切な判断ができ、不安なく自らの意志でAI等の恩恵を享受し、

履修学年	科目名	内容番号	単位	修得単位
4年	医療プロフェッショナリズム	[1][2][3][4]	1	1
4年	社会医学実習	[1][2][3][4][5][オ1][オ7]	1	1
4年	神経・脳科学	[3][オ9]	2	2
4年	臨床薬理・EBMと医療	[3][5][オ1]	1	1
4年	医学統計	[1][2][3][4][5][オ1][オ7]	1	1
3年	環境保健学	[2][3][4][5]	1	1
3年	診療情報・臨床研究と医療	[2][3][4][5][オ9]	1	1
3年	生命倫理学	[4]	1	1
3年	疫学	[1][2][3][4][5][オ1]	1	1
2年	研究室配属	[オ1][オ7]	4	4
1年	解析学Ⅰ	[オ1]	1	1
1年	解析学Ⅱ	[オ1]	1	1

教養教育 | 1年次以上対象 | 2年次以上対象 | 3年次以上対象 | 4年次以上対象

医学部看護学科　履修モデル

想定対象学生：1～4年生

修得単位合計：18

修了レベル：レベル1

履修モデルタイトル：看護に生かすデータサイエンス

当該履修モデルを通じて学生に学修させたい内容：
・看護の対象となる人々の心身の健康並びに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程を社会的条件の中で系統的かつ予測的に分析するために必要なデータの収集方法や収集した利活用の方法
・看護の対象となる人々の生活と健康に関わる社会システムおよびヘルスケアシステムに変化をもたらしうる看護の社会的責務を理解するためのデータの利活用の重要性
・看護の対象となる人々、ならびに個人・家族・集団・組織を含むコミュニティ（共同体）の看護診断・計画・実践・評価と数理・データサイエンス・AIの密接な結びつき

履修学年	科目名	内容番号	単位	修得単位
4年	総合実習	[オ8]	2	2
4年	地域看護学実習	[オ8]	4	4
3年	疫学	[オ1]	1	1
3年	地域看護方法論Ⅰ	[2][5][オ8]	3	3
3年	ヘルスケアシステム論Ⅰ	[2][3][オ8]	2	2
3年	生命倫理学	[オ9]	1	1
2年	公衆衛生学	[2]	1	1
2年	行動科学	[オ9]	2	2
1年				
必修	「学術情報リテラシーⅠ」　内容番号:[2][3][4][5]　単位:1			
必修	「学術情報リテラシーⅡ」　内容番号:[1][2][3][4][5]　単位:1			

想定対象学生：1～4年生

修得単位合計：専門必修科目18単位と教養教育科目2科目4単位以上を選択すること

修了レベル：レベル2

履修モデルタイトル：看護に生かすデータサイエンス　レベル2

当該履修モデルを通じて学生に学修させたい内容：
・看護の対象となる人々の心身の健康並びに疾病・障害の予防、発生、回復及び改善の過程の分析の、自然科学の基盤に基づいたデータの収集方法や収集した利活用の方法
・看護の対象となる人々の生活と健康に関わる社会システムおよびヘルスケアシステムと看護の社会的責務の、社会科学の基盤に基づいたデータの利活用の重要性
・看護の対象となる人々、ならびに個人・家族・集団・組織を含むコミュニティ（共同体）の看護過程の、情報処理・数学の学際的基盤に基づいた数理・データサイエンス・AIの密接な結びつき

履修学年	科目名	内容番号	単位	修得単位
看護必修				
4年	総合実習	[オ8]	2	2
4年	地域看護学実習	[オ8]	4	4
3年	疫学	[オ1]	1	1
3年	地域看護方法論Ⅰ	[2][5][オ8]	3	3
3年	ヘルスケアシステム論Ⅰ	[2][3][オ8]	2	2
3年	生命倫理学	[オ9]	1	1
2年	公衆衛生学	[2]	1	1
2年	行動科学	[オ9]	2	2
看護選択				
3年	助産学ゼミナール	[オ1]	2	2
教養選択				
1～4年	データサイエンスの世界	[1][2][3]	1	1
1～4年	データサイエンスの実践	[4][5][オ1][オ2][オ3][オ7][オ8][オ9]	1	1